

令和8年度豊見城市こども防災俳句コンテスト作品募集要項

- 主催 豊見城市
- 共催 豊見城市教育委員会
- 協賛 株式会社RICKA、イーアス沖縄豊崎
大同火災海上保険株式会社

本市は、これまで台風や大雨など、いくつもの自然災害により大きな被害を受けてきました。また、今後起こるとされる大地震や大津波にも備える必要があります。自然災害を避けることは非常に難しいですが、被害を軽減させるため、「自分の命は自分で守る（自助）」及び「自分たちのまちは自分たちで守る（共助）」を高めることで被害を小さくすることは可能です。

そのため、自分や家族でできること、地域住民が力を合わせてできることを将来の地域防災力の担い手となる小学生、中学生及び高校生のみなさんに考えてもらう良い機会とし、市民一人ひとりの防災意識の高揚、幼少期からの情報リテラシーと防災行動への意識を促し、ジュニア防災リーダーの育成を図る目的として、この度「防災」をテーマとした俳句コンテストの作品募集を行います。

台風、豪雨、地震、津波などの自然災害から身を守るには日ごろからの備えが大切です。

1 募集内容

(1) 募集対象

豊見城市内の小・中学生、高校生

(2) キャッチコピー

詠んで学ぼう 五・七・五 遊びながら身につく防災力

(3) テーマ

豊見城市の過去の災害や、災害リスクなど（自然災害に限る。）を念頭に置きながら、市民の皆さんに「防災意識」を高めてもらえるような、災害の「現象」や「備え」を詠み込んだ俳句。

【現象の例】

台風、大雨、梅雨、地震、津波、雷、竜巻、土砂災害、液状化、停電、干ばつ、断水、地球温暖化、熱中症、火災、にんがちかじまーい、ミーニシなど

【備えの例】

避難場所、防災リュック、避難行動、非常食、ローリングストック、地域活動、訓練、防災土、防災さんぽ、防災マップ、マイタイムライン、ゆいまーる、ぬちどうたから、なんくるないさ、など

(4) 応募上の注意

- ① 応募フォームより応募してください。
- ② 俳句はなるべく五・七・五 (5・7・5) の形式になるようにしてください。
- ③ 応募数は1人1点までとし、未発表のものに限ります。
- ④ 応募の際は、「込めた思い」を記述してください。
- ⑤ 既に公になっている作品は審査対象から除きます。
- ⑥ 入選作品は、防災啓発活動などで使用します。
(氏名公表を伴います。)
- ⑦ 応募作品は、市がAI画像生成を活用した防災かるたなど、防災啓発ツールとして活用させていただきます。
- ⑧ 応募作品の著作権等の一切の権利は、主催者に帰属します。

2 応募方法

- (1) 個人で応募可能です。以下のQRコード又はURLから応募してください。
- (2) 小学校、学童クラブ、児童クラブ単位等で応募する際は、それぞれでとりまとめて入力してください。※一括入力はできませんので余裕をもって入力してください。

応募フォームはこちら：<https://logoform.jp/f/5HCXC>



3 応募期間

令和8年7月1日(水)から令和8年8月28日(金)まで

4 表彰

厳正な審査を経て、以下の部門毎に市長賞、教育長賞、株式会社RICKA賞、大同火災海上保険株式会社賞、イーアス沖縄豊崎賞を選定し、表彰状及び記念品を授与します。

① 小学生の低学年(1年生・2年生)の部

| | | |
|-------------|----|----------------------|
| 市長賞(最優秀賞) | 1名 | 賞状、副賞(KIDS防災リュックサック) |
| 教育長賞(優秀賞) | 2名 | 賞状、副賞(KIDS防災リュックサック) |
| RICKA賞(優良賞) | 2名 | 賞状、副賞(KIDS防災リュックサック) |

② 小学生の中学年(3年生・4年生)の部

| | | |
|------------|----|----------------------|
| 市長賞(最優秀賞) | 1名 | 賞状、副賞(KIDS防災リュックサック) |
| 教育長賞(優秀賞) | 2名 | 賞状、副賞(KIDS防災リュックサック) |
| 大同火災賞(優良賞) | 2名 | 賞状、副賞(KIDS防災リュックサック) |

③ 小学生高学年（5年生・6年生）の部

| | | |
|-------------|----|------------------------|
| 市長賞（最優秀賞） | 1名 | 賞状、副賞（リュック&キャリー型防災バッグ） |
| 教育長賞（優秀賞） | 2名 | 賞状、副賞（リュック&キャリー型防災バッグ） |
| RICKA賞（優良賞） | 2名 | 賞状、副賞（リュック&キャリー型防災バッグ） |

④ 中学生の部

| | | |
|------------|----|------------------------|
| 市長賞（最優秀賞） | 1名 | 賞状、副賞（リュック&キャリー型防災バッグ） |
| 教育長賞（優秀賞） | 2名 | 賞状、副賞（リュック&キャリー型防災バッグ） |
| 大同火災賞（優良賞） | 2名 | 賞状、副賞（リュック&キャリー型防災バッグ） |

⑤ 高校生の部

| | | |
|--------------|----|------------------------|
| 市長賞（最優秀賞） | 1名 | 賞状、副賞（リュック&キャリー型防災バッグ） |
| 教育長賞（優秀賞） | 2名 | 賞状、副賞（リュック&キャリー型防災バッグ） |
| イーアス豊崎賞（優良賞） | 2名 | 賞状、副賞（リュック&キャリー型防災バッグ） |

表彰式は、10月13日（火）午前11時からイーアス沖縄豊崎1Fイーアスコートで実施を予定しています。

5 その他

作品例を別紙に示します。参考にしてください。

6 問合せ先

豊見城市 総務部 総務防災課防災危機管理班（市庁舎4階）

〒901-0292 豊見城市字宜保一丁目1番地1

☎ 098-850-8165

E-mail : bosai-g@city.tomigusuku.lg.jp



令和7年度「豊見城市防災・減災標語コンテスト」の表彰式を行いました。

更新日：2025年08月12日



【作品例】

1. 小学校低学年向け（わかりやすい言葉で、身近な行動を詠む）

俳句: じしんきた かぞくみんなであつまるよ

現象: 地震

(込めた思い)

地震が起きたら、家族で決めた場所に集まることの大切さを、わかりやすい言葉で表現しました。家族で助け合う気持ちを込めています。

俳句: つなみくる たかいところへ すぐにげる

現象: 津波の避難行動に関連する災害

(込めた思い)

津波が来たら、すぐに高い場所へ避難することの大切さを、わかりやすい言葉で表現しました。迅速な避難行動への意識を促します。

俳句: おかあさん よりもこわいよ おおつなみ

現象: 津波

(込めた思い)

子どもにとって一番怖い存在である「おかあさん」よりも、津波の方がもっと怖いという、素直な気持ちを五七五で表現しました。津波の恐ろしさをユーモラスに、しかし強く印象づけることで、防災意識を高めるきっかけとします。

2. 沖縄らしい現象や地域性を盛り込んだ俳句

俳句: カタブイに そとあそびやめ 家に入る

現象: カタブイ（片降り）

(込めた思い)

沖縄特有の「カタブイ（突然の強い雨）」が降ってきたら、すぐに外遊びをやめて屋内に避難するという身近な行動を詠みました。急な天候変化への備えを呼びかけます。

俳句: ゆいまーる そなえで広がる 命の輪

現象: 特定の自然災害ではなく、地域防災全般

(込めた思い)

沖縄の言葉「ゆいまーる（助け合い）」の精神で、地域が一体となって防災に取り組むことで、多くの命が救われることへの期待を込めています。

3. 行動や意識を促す俳句

俳句: 大雨の 窓打つ音に 備え見直す

現象: 大雨
(込めた思い)

大雨が窓を叩く音を聞き、それをきっかけに、家庭での防災備蓄や避難経路などを改めて確認し、見直すことの重要性を詠みました。

俳句: 地震には 揺れおさまるまで 身を低く

現象: 地震
(込めた思い)

地震発生時の最も基本的な初期行動である「身を低くする」ことを、揺れが収まるまで続けるという教訓を詠みました。

俳句: あんしんを ぼうさいバックに つめこんで

現象: 特定の自然災害ではなく、日頃の備え全般
(込めた思い)

防災リュックに非常用品を準備しておくことが、災害時の安心に繋がるというメッセージを込めています。

俳句: おばあちゃん 早く逃げよう ぼくたちと

現象: 津波、洪水など、避難が必要な災害
(込めた思い)

災害時には、高齢者など避難に時間がかかる人を気遣い、一緒に避難 することの重要性を呼びかけています。

俳句: 助かるよ 地域の仲間 助け合い

現象: 特定の自然災害ではなく、共助全般
(込めた思い)

災害時に地域住民が協力し助け合う「共助」の精神が、多くの命を救うことに繋がるというメッセージを込めています。

俳句: 日頃から 確認しよう 避難場所

現象: 特定の自然災害ではなく、避難に関する備え全般
(込めた思い)

いざという時にスムーズに避難できるよう、普段から避難場所や避難経路を確認しておくことの重要性を詠みました。

俳句: より高く 逃げる先には 未来あり

現象: 津波、洪水など垂直避難に関連する災害
(込めた思い)

津波や洪水など、水害からの避難では、より高い場所へ逃げるのが自らの命、そして未来を守ることに繋がるという教訓を詠みました。

4. 防災のより深いテーマを意識した俳句

俳句: スマホ見て 災害情報 読み解く目

現象: 情報化社会における災害情報、様々な自然災害
(込めた思い)

現代の高校生にとって身近なスマートフォンを活用し、リアルタイムで得られる災害情報をただ見るだけでなく、正しく読み解き、適切な行動に繋げることの重要性を詠みました。情報リテラシーと防災行動への意識を促します。

俳句: 未来へと 防災つなぐ 若き力

現象: 地域全体での防災活動、未来への継承
(込めた思い)

自分たち高校生が、地域の防災活動に積極的に参加し、次世代へと防災の知識や意識を繋いでいくことの責任と役割を表現しました。地域社会への貢献意識を促します。

【防災かるた作品例】



※この防災かるたは応募作品から二次利用し、市役所で作成するものです。